

武漢事務所週刊ニュース（2016. 6. 11-2016. 6. 17）

2016年6月13日

JAC 新エネ自動車武漢生産基地が着工

昨日、武漢盟盛自動車産業園及び江淮新エネ自動車武漢生産基地建設が着工した。当産業園では、新エネ自動車の生産と販売サービスが揃う産業チェーンを作る。

武漢盟盛自動車産業園は省レベルの蔡甸経済開発区にあり、新エネ完成車の製造をベースに、国内一流の新エネ自動車の研究開発、生産、体験、販売などを一体化させている。JAC 汽車武漢新エネ生産基地は武漢盟盛産業園と安徽江淮汽車が共同に協力し、一期の総投資額は10億元で、出来上がれば新エネ自動車の年間生産量は2万台に昇る。内訳は新エネセダン、新エネ商務用車がそれぞれ1万台となっている。新エネプロジェクトを含む13プロジェクトが蔡甸経済開発区で同時に着工し、総投資は55億元。

2016年6月14日

北斗 GPS システムがスクールバスを守る

昨日、武漢貝街芸術幼稚園園長王祇が、タブレットでスクールバスの様子をチェックした。

スクールバスに高精度の北斗 GPS 車載一体機システムを搭載したため、園側と親がいつでも端末でスクールバスの運行状況を確認できる。たとえスピード違反やバスが車線からそれるような状況があっても、監視センターが自動警報を受け取るため、スクールバスの安全運行が可能となっている。

